

地域にもっと

のめーい

2024 Disclosure

上半期の事業報告

(2024年4月1日～2024年9月30日)

「地域と共に」未来へかける

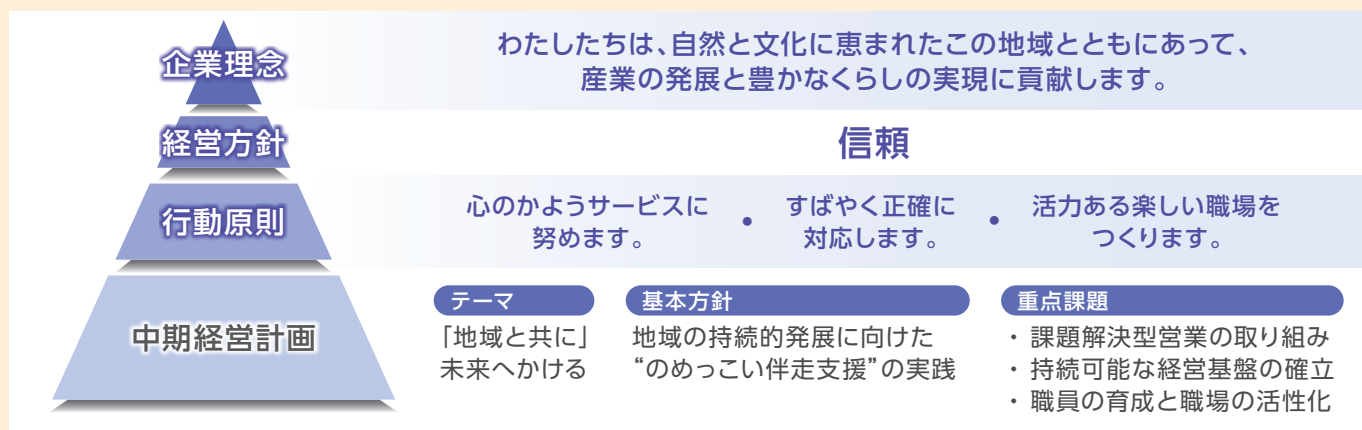


青梅信用金庫

2024年度 上半期の業績をご報告します

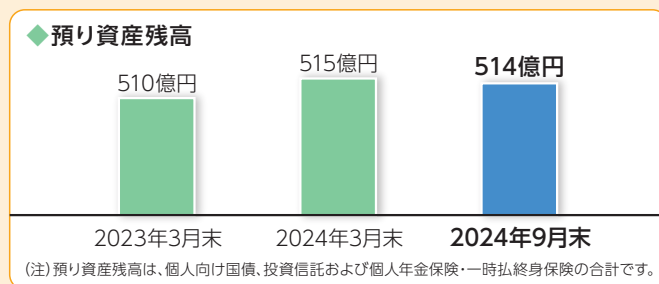
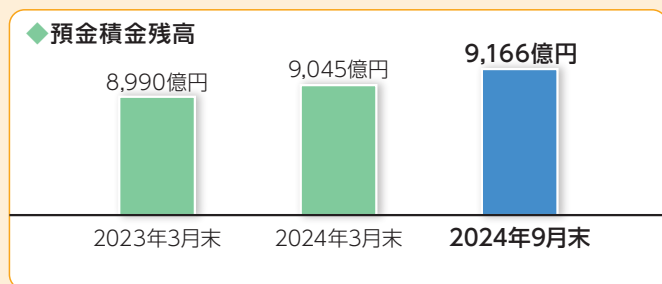


2024年度からスタートした中期経営計画では、「地域の持続的発展に向けた“のめっこい伴走支援”の実践」を基本方針としています。お客さまと共に考え共に行動していくことで、地域で一番選ばれる金融機関を目指してまいります。



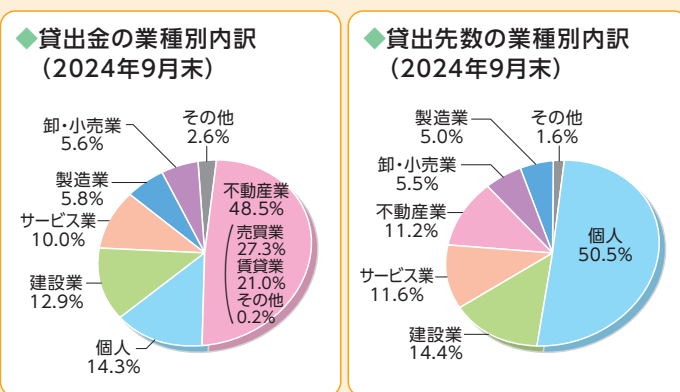
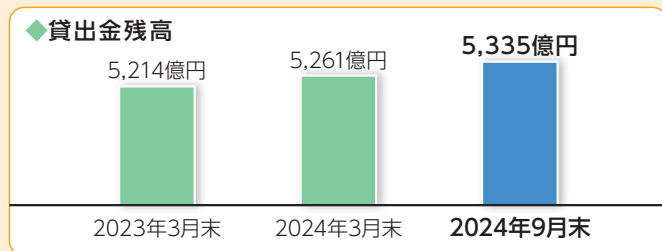
■ 預金積金と預り資産の状況

預金積金残高は、お客さまの資産形成をお手伝いするために、今年度よりお取り扱いを開始したあおしん給振定期預金のほか、あおしん年金3倍定期預金やあおしん懸賞付定期などをご提案してきた結果、2024年3月末から120億円増加し、9,166億円となりました。また、預り資産は、お客さま本位の業務運営に関する基本方針に則り、お客さまにふさわしい金融商品をご提供してきました。



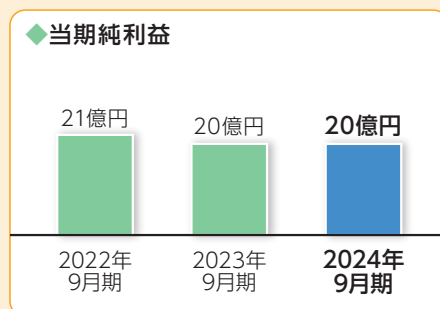
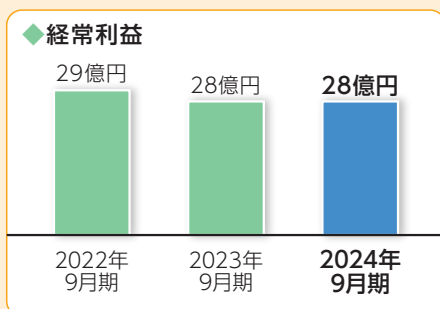
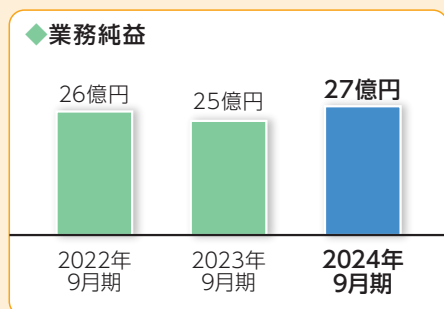
■ 貸出金の状況

貸出金残高は、お客さまに寄り添い、お客さまをよく知り、お客さまに適切なご提案をする“のめっこい伴走支援”に積極的に取り組んだ結果、2024年3月末から74億円増加し、5,335億円となりました。



■ 損益の状況

本業の収益を示す業務純益は、貸出金利息などの資金運用収益の増加により、2023年9月末比2億円増益の27億円となり、経常利益は28億円、当期純利益は20億円となりました。



■ 自己資本比率の状況

自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性を示す重要な経営指標の一つです。信用金庫などの国内で業務をおこなう金融機関は4%以上の自己資本比率が求められている中、十分な水準を維持しています。

(注) 所要自己資本額は、リスク・アセットに4%を乗じた額です。

◆自己資本の構成および定量的な開示事項

(単位:百万円)

	2024年3月末	2024年9月末
自己資本の額(A)	56,248	58,316
コア資本に係る基礎項目の額	56,343	58,408
コア資本に係る調整項目の額	95	91
リスク・アセット等の額の合計額(B)	469,079	481,964
自己資本比率(A)÷(B)	11.99%	12.09%
単体総所要自己資本額	18,763	19,278
信用リスクに対する所要自己資本の額	17,828	18,343
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	935	935

■ 有価証券の状況

お客さまからお預かりした大切な預金は、貸出金として地域の皆さまにご利用いただく以外に、国債などの安全性・流動性を重視した有価証券で運用しています。

有価証券残高は、国内金利が徐々に上昇していく中で運用利回りの向上を考え、時間分散しながら債券を中心に購入した結果、2024年3月末から214億円増加し1,459億円となりました。

◆その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

種 類	2024年3月末			2024年9月末		
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
株式	2,956	1,235	1,720	2,820	1,196	1,623
債券	90,346	93,199	△2,852	105,267	108,806	△3,539
国債	32,319	33,437	△1,118	46,772	48,350	△1,578
地方債	2,813	2,799	14	2,806	2,799	6
社債	55,213	56,962	△1,749	55,688	57,656	△1,967
その他	31,221	23,928	7,293	37,838	30,955	6,883
合計	124,524	118,363	6,160	145,925	140,958	4,967

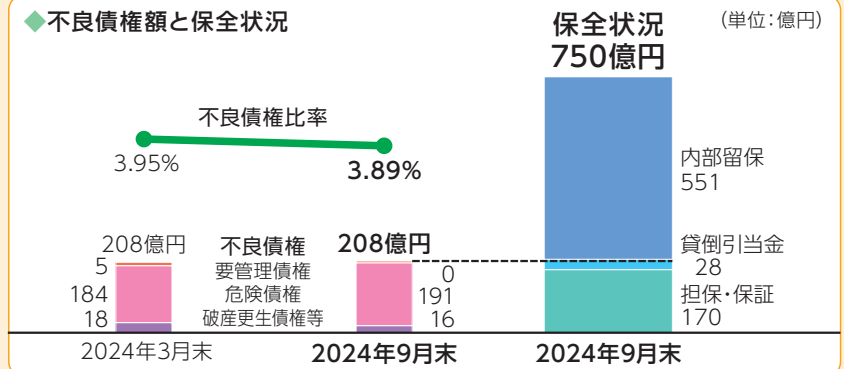
(注) その他有価証券で市場価格のない株式等が、2024年3月末58百万円、2024年9月末58百万円あります。

■ 信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

不良債権額は、208億円となりました。この不良債権額を確実に回収する担保・保証額と貸倒引当金の合計額は199億円、保全率は95.68%となりました。さらに、別途特別積立金等の内部留保551億円により盤石な態勢をとっており、より一層の資産の健全化に努めています。

◆不良債権額と保全状況

(単位:億円)



◆信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円・%)

区 分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)÷(a)	引当率 (d)÷(a-c)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2024年3月末	1,884	1,884	1,744	139	100.00	100.00
	2024年9月末	1,602	1,602	1,452	149	100.00	100.00
危険債権	2024年3月末	18,402	17,507	14,651	2,856	95.13	76.14
	2024年9月末	19,120	18,248	15,560	2,687	95.43	75.50
要管理債権	2024年3月末	520	468	433	34	89.94	39.85
	2024年9月末	93	68	62	5	72.81	18.76
三月以上延滞債権	2024年3月末	288	288	269	19	100.00	100.00
	2024年9月末	—	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	2024年3月末	231	179	163	15	77.41	22.77
	2024年9月末	93	68	62	5	72.81	18.76
小 計(A)	2024年3月末	20,807	19,860	16,829	3,030	95.44	76.19
	2024年9月末	20,816	19,918	17,075	2,843	95.68	76.00
正常債権(B)	2024年3月末	505,918					
	2024年9月末	513,331					
総与信残高 (A)+(B)	2024年3月末	526,725					
	2024年9月末	534,147					

(注) 1. 対象債権は貸出金、債務保証見返、未収利息等の資産です。

2. 不動産の担保評価は路線価の70%で評価しています。また、保証は信用保証協会等の優良保証などです。

掲載している比率・金額は、単体ベースです。単位未満を切り捨てて表示しているため、合計・差額等と一致しない場合があります。

■「青梅大祭」に参加しました

青梅大祭は、1513年(永正10年)に住吉神社でおこなわれた祭礼が起源と言われる青梅市最大のお祭りです。5月2日から3日にかけて開催され、本店正面入り口では毎年恒例の樽酒を振る舞い、中町支店の職員は仲町地区の山車を曳き青梅市内を練り歩きました。



■「信用金庫の日」(6月15日)に清掃登山を実施しました

ワンデーハイキング部を中心とした役職員16名が奥多摩の高水三山(高水山、岩茸石山、惣岳山)^{たかみずさん いわたけいしやま そうがくさん}を尾根伝いに進み、登山を楽しみながら空き缶やペットボトルなどのゴミを拾いました。



JR青梅線 「軍畑駅」を出発



岩茸石山の山頂

● 青梅信用金庫の概要 (2024年9月30日現在)

創 立：1922年(大正11年)3月6日

本店所在地：〒198-8722

東京都青梅市勝沼三丁目65番地

☎0428-24-1111(代表)

<https://www.aosyn.co.jp/>



預金積金：9,166億円

貸 出 金：5,335億円

有価証券：1,459億円

出 資 金： 21億円

出資口数：4,399,565口

会 員 数：44,943人

店 舗 数：36店舗

店舗外ATM：5店舗

役 職 員 数：680人